

社会福祉法人島田福祉会大森駅前保育園 2024 年度事業報告

1. 前年度の目標に対する成果と足りなかったこと

①「子どもの主体性」に対して、「社会の一員としての自覚の中で自主性を育てる」という明確な意識を持ち、その実現のための対応を職員間で話し合い、認識を共通のものにします。

子どもの主体性の育ちのためには、「子どもの自由意思に任せる」ことではなく、「意思を尊重しつつ育てていく」ことが必要という法人の基本方針を踏まえ、そのための計画立案・環境整備にあたっての園としての「主体性」を発揮できるよう、協議の場や学習機会を多く取り、各人の意識の伸長に努めます。

成果	・主体性を「育てる」ためには、園運営の中で子どもの環境を計画的に整え、発達を促すことが必要であり、子どもに関わるおとなとして責任を持って介在するという意識を持てるよう、話し合いの場の確保に努めた。 ・子どもを取り巻くおとなの主体性の重要性を踏まえ、保護者の自己決定性を尊重するため、参考意見は述べても、最終的な選択は保護者に任せること、そしてその決定について職員で情報を共有することを徹底した。
次年度の課題	・引き続き話し合いの時間を多く取り、職員集団が共通の認識を持つこと、その中で個人の見解について意見交換を行い、必要に応じて全体の共通認識を向上させていく

②「アフターコロナ」の運営を本格化させるため、前年度整理した新しい運営の形をベースに、子どもの現状を踏まえての新しい視点での保育や、従来から変更したことによって生まれた課題の克服に取り組めます。

前年度の取り組みによってある程度固まってきた運営の中で、コロナ禍で学んだ感染症対策の日常化や、子どもの手洗い習慣など、継続して取り入れる内容を確定させます。また、前年度取り組んできた新しい運営の基本作りを振り返り、問題点を洗い出してさらなる向上を目指します。

成果	・前年度施行した行事の再開、再開に課題がある行事の再開可否については職員間の認識を共通のものにできた。 ・行事の再開の可否について、保護者とも概ね共通認識を持つことができ、園の開催の形の中での希望や提案を挙げてもらうことができた
次年度の課題	・「まだコロナ対策をしている」のではなく、コロナ禍で学んだ感染症への取り組みを生かし、乳幼児施設として今後も必要な対策は継続していくことを、継続的に伝えて理解を求める。 ・今年度で概ね定着した年間行事を、更に子どもの育ちに資するように目的と内容を精査する。

③短期間で変わる行政からの情報連携を徹底し、運営に関わる方針の変更に関しては、職員間の情報共有を密に行います。

行政の方針を正しく理解するために、常に行政への質問・確認を行い、その結果を職員全体が共有します。また、それを踏まえて法人が方針を決定しているということを理解し、判断の根拠を常に職員に提示し、会議や MT の場での情報共有を一層徹底します。また、有期雇用職員との情報連携の強化にも引き続き取り組みます。

成果	・毎月の職員会、リーダー会では、職員の採用や時間変更等の運営情報から、行政による最新の指導内容までを常に全職員に提示し、不確かな情報からの思い込みによる不信感をなくすことを継続して行った。 ・年間計画が落ち着いてきたため、法人方針を確認すべき時期を予測し、早めの確認を行って混乱を避けることができた。 ・有期雇用職員に対する情報提供の形が定着し、提供される側からも積極的に情報共有しようとする姿が見られるようになった。
次年度の課題	・行政のコロナ関連の方針は落ち着いてきているが、少子化対策・子育て支援の部分で整合性に欠ける提案が相次いでいるので、内容を把握し、整合性を確認した上で職員が共有できるよう配慮する。 ・有期雇用職員との連携の強化、意識の伸長を更に進めると同時に、職種における業務分担について、更に明確化を図る。

④前年度の園内研修の学びを踏まえて、業務の正しい効率化に取り組むために書式の改定の効果を実感し、互いの業務の効率化が互いの業務の負担感の軽減につながるということを各自が自覚できるよう、適切な評価を行います。

前年度の園内研修で書類の整理と効率化に取り組み、自分たちが記録する目的、つまり「情報を共有するために記録する」ことの大切さを実感することができました。今年度は改定した新書式を活用し、「自分の情報伝達スキルが上がれば園全体が効率的に作業が進められる」ことを実感できるよう、各人に応じた情報発信の機会を割り当て、達成感の育成に配慮します。

成果	・今年度の園内研修のテーマを「情報発信力を高める」とし、発信力を高める書式についても再度検証を重ねた。 ・利用者に、職員間で、とさまざまな発信の場において効果的な内容を検討し、計画的に情報提供する姿勢が見られた。
次年度への課題	・職員の意識が高まり、次年度も引き続き発信力強化を進めることに決定したので、次年度は受信側の反応にも配慮する形を検討していく。 ・互いの情報不足のための混乱や二度手間を防ぐため、より一層情報共有を進め、連携を密にする。

⑤第三者評価を受審し、利用者の意向をくみ取ると共に、運営を振り返るヒントとして日常運営の向上につなげます。

第三者評価の受審年にあたるため、前回から改善を図れていること、維持できていることを整理し、利用者の意向をも踏まえてさらなる運営向上につなげます。併せて日常的なコミュニケーションを重視し、利用者との信頼関係の構築に努めます。アンケート結果はすべて職員・保護者に公表し、相互理解による改善を進めます。

成果	・例年通り連絡帳や聞き取り、運営委員会を通して、保護者の意見を聞き取る機会を設けた。 ・第三者評価を受審して利用者の意向をくみ取り、外部からの園の運営に関わる見解を知り、今後の運営のヒントを拾い出す機会とした。
次年度への課題	・評価結果受領は新年度にかかるため、次年度は結果の内容を職員で共有し、必要な課題解決と、評価されたポイントの維持向上に努める。

⑥前年度までに再開した地域活動については、より一層の充実を目指します。また、再開には課題が多いと判断した活動に関しては、再開できる条件を整理して翌年度の計画に反映します。

再開した出前保育に関しては、職員体制と勘案して訪問先と回数を整理し、一層の充実を目指します。また、再開に関する課題が多い、園内でのお話し会の地域参加に関しては、出前保育からの発展として、乳児対象と限定することでの開催の可能性を検討していきます。

成果	・施設内見学を通しての入園希望者への情報提供は継続して実施した。 ・出前保育を最寄の1施設に整理し、回数も調整して職員に負担がかかりすぎないように配慮した。施設側から次年度に向けて更に規模の大きな会への参加を依頼された。
次年度への課題	・出前保育に参加するのは乳児の家庭が多いので、そこでの交流がさらなる関係強化につながることを検討する。 ・地域活動の大枠は確立したが、再開できないことを決定したものも一定数あるので、他事業の提案や依頼があれば実現に向けて検討する。

⑦ 2024 年度からの第二次中期計画は、自らの勤務姿勢の土台となるものという自覚を職員全体が持ち、具体的な運営に展開できるよう周知及び説明の機会を多く取り、共通理解の上で計画に沿った運営を心がけます。

法人の中長期計画に対して、「自分とは関係ないところにある何か」ではなく、園の運営計画の根本にあるものということを各職員が自覚できるよう、内容の説明や現実の運営との関わりについて年間を通して理解と学習を進めます。

成果	・感染症拡大防止対策の緩和により、園の運営や計画に中止していた内容の一部を取り入れることができた。 ・「従前に戻す意義があること」「再構築の機会とすべきこと」を精査して、昨年度からの修正を行った計画に沿った運営の中で、更に活動内容を広げることができた。
次年度への課題（改善点）	・今年度での結論を保留し、更に次年度へ繰り越された課題を検討し、法人全体としての優先度や行政の姿勢などを勘案して長期計画への提案を行う。

b 計画の進捗状況

園の年間計画が定着し、急な変更・中止を求められることがほぼなくなったため、目標達成のための各種対策も順調に進められている。また、ここ数年課題を確認し、その解決のための協議・決定の流れを職員が把握できるよう明示する事にも取り組んできたので、2025年度には職員が主体となって計画立案・推進を図れるような働きかけを行う。

1. 施設運営

(1) 児童の処遇

ア クラス編成及び職員配置

クラス名	年齢	園児定数	保育士数	担任・担当		担任外
ふたば わかば	0歳	6	2			
	1歳	8	2			
つぼみ	2歳	8	2			
たんぽぽ	3歳	8				
ひまわりB	4歳	8	1+2			
ひまわりA	5歳	8				
合計		46	7+3			

※有期雇用職員の内訳
(固)は、固定時間勤務
の週5日1日6時間以上
勤務の保育士

(短)は週30時間未満
の短時間保育士

イ 月別保育実施日数及び在籍児数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	備考
25	24	25	26	26	23	292	
10月	11月	12月	1月	2月	3月		
26	24	23	23	22	25		

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
初日在籍	40	39	38	37	37	37	37	36	36	36	36	36	445
入園	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
退園	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	4

ウ 健康管理・衛生管理

※感染症拡大防止対策を最優先し、日常的な健康観察に十分留意した。

項目	対象	回数等	項目	対象	回数等	項目	回数等
健康診断	0.1歳児	週1回	身体計測	0.1歳児	週1回	全館消毒	毎月第4金曜
	全園児	4/30. 10/29		全園児	月1回	布団乾燥	年9回土曜
歯科検診	全園児	6/13. 11/14	蟻虫検査	2歳以上	年1回	園庭消毒	5/10・11/26

エ 保育

〔各クラスの保育目標〕 事業計画で示した下表の目標にそった運営を行い、保育内容に関して大多数の家庭から高い評価を得た。

クラス	年齢	年間目標
ふたば・わかば 共通		- 子ども達一人ひとりを受容し、保育者との信頼関係を築いていく。 - 個々の成長・発達・要求に合った「あそび」を楽しむ。 - 自分でしようとする気持ちの芽生えを大切にしながら、保育者の援助を通して基本的な生活習慣が身につくようにする。
ふたば	0歳児	- 安全で清潔な環境の中で、生理的欲求を満たし、心地よく過ごす。 - 受容的、応答的な関わりを通して、大人との信頼関係の基盤を築き、安定した情緒で過ごす。 - 一人一人の発達に応じた援助のもと、離乳の完了や歩行の完成を促し、健康な心と体を育てる。 - 保育者との愛着関係を深め、心地よい気持ちのやりとりを重ねながら、身近な人と共に過ごす喜びを感じる。 - 身近なものへの興味関心を広げ、探索活動を楽しみ、豊かな感性をはぐくむ。
わかば	1歳児	- 安定した生活リズムで過ごし、身の回りのことなどに興味を持ち、自分で取り組む気持ちを育てる。 - 季節や自然に触れながら、さまざまなものに対する興味や好奇心を広げる。 - 保育者との信頼関係を基に、友達との関わりや心地よい気持ちのやりとりを楽しむ。 - 歌や音楽に親しみ、身体を動かすことや自由に表現する楽しさを味わう。 - 自我の芽生えを見守り、したいことやしてほしいことを自分なりに表現する。 - 全身運動や指先の機能の発達を促し、心身共に健康な身体づくりをする。 - 手洗指導を受け、石けんをつける、洗う、流すなどの一連の流れを覚え、清潔にする気持ちよさを味わいながら、少しずつ自分でしようとする
つぼみ	2歳児	(養護) - 一人一人の健康状態や発達を把握し、適切な援助をしながら、健康に園生活を過ごせるようにする。 - さまざまな自己主張を受け止め、自我の発達を育みながら、一人一人が安心して園生活を送り、十分に自己を発揮できるようにする。 (教育) - 保育者との安定した関わりの中で、身の回りのことに興味を持って取り組み、基本的な生活習慣を身につける。 - 安心できる保育者との関わりや環境の中で、思いや興味のあることを自分なりに言葉で伝えたり表現したりする。 - 園生活のさまざまな体験を通して、人や物への関心を広げる。
たんぽぽ	3歳児	(養護) - 適度な運動と休息をとりながら生活リズムを整え、清潔で安全な環境の中で意欲的に生活できるようにする。 - 保育者との信頼関係を基盤に、自分の気持ちを安心して表し、自分を肯定する気持ちが育まれるようにする。 (教育) - 基本的な生活習慣が分かり、身の回りのことを自分で行おうとする。 - 遊びや生活の中で他者の存在や思いに気づき、共に過ごすことの楽しさを感じたり、関係を深めたりする。 - 身近な環境に自分から関わり、自然とふれあったり、さまざまな事象に興味や関心を持ったりする。
ひまわりB	4歳児	- 生活に見通しを持ち、さまざまな活動を進めていく中で、基本的な生活習慣や態度を身につける。 - 同年齢や異年齢児との関わりの中で、相手の話を聞いたり、気持ちや表情を感じ取ったりしながらさまざまな考えに触れる。 - 他者との会話を通して、自分の考えを言葉で伝え合い、それぞれが「考える」経験を十分に行い、言葉の感性を豊かにする。 - 身近な環境に好奇心や探究心を持って関わり、物の性質や特性への関心を高める。 - さまざまなあそびや体験を通して、表現する楽しさや豊かな表現力や想像力を培う。
ひまわりA	5歳児	- 健康で安全な生活を送る習慣と態度を身につけ、主体的に活動する。 - 友だちや異年齢児との関わりの中で、思いやる気持ちを育て、互いの思いを認め合いながら集団での活動を楽しむ。 - 身近な自然や事象への興味や関心を深め、知的好奇心や探究心を満たす。 - 生活の中で必要な言葉を身につけ、自分の気持ちを表現すると共に、伝わる喜びや伝え合う心地よさを味わう。 - さまざまな体験を通して、表現する過程を楽しみながら、豊かな感性や想像力を育む。 - 集団活動の中で、達成感や充実感を味わいながら自信を持ち、修学への期待につなげる。
給食		「おながすくリズムを持てる子ども」「食べたいもの、好きなものが増えていく子ども」「一緒に食べたい人がいる子ども」「食事作り、準備に関わる子ども」「食べものを話題にする子ども」の育ちのために保育と連携する。 - 各年齢の年間指導計画の内容に沿って、食育などを進めていく。
保健		健康で安全な生活をしていくための習慣を身につけられるように働きかけていく。

〔主な行事〕

予定行事	実施日	予定行事	実施日
新入園家庭保護者会 クラス交流会(0.1歳児)	4/27	保育参観&個人面談(2023年度より 在園・進級児)	11月
子どもの日集会	4/24	おみせやさんごっこ	12/5
交流会(2～5歳児)	5/25	保護者会(2.3歳児・4.5歳児)	12/21
保育参観&個人面談(新入園児+希望者)	6月	クリスマス会	12/25
七夕集会(2歳児～5歳児)	7/4	お正月集会	1/7
夏のお楽しみ会	7/18	保護者会(0.1歳児)	1/18
ふれあい水族館	8/8	節分集会	2/3
就学準備保護者会(4.5歳児)	8/24	発表会	2/23
運動会	10/13	新入園児オリエンテーション	3/1
秋の遠足・4～5歳児	11/1	お別れ遠足(4.5歳児)	3/17
鮭の解体見学	11/20	お別れ会	3/19
七五三の日	11/13	卒園式	3/22

※園児のみの行事を中心に日常保育の一環として位置づけ、平日の保育時間内に園児対象で実施することをメインとした。

※概ねコロナによる制限が解除されたため、年度当初の予定を中止または縮小した行事はなく、年間予定通りに実施。

オ 栄養管理

集団給食施設栄養報告	法人内の栄養士と連携を取りながら、5月と11月の2回、定期報告を行った。
献立作成上の留意点	園独自の行事食や、食育への取り組みを推進。 →行事食(こどもの日、七五三、クリスマス等の特別メニュー、卒園リクエスト献立など) →食育(職員が食卓で園児と食事をする事、クッキングなど、コロナ前に取り入れていた活動を概ね再開できた)
給食供給者としての諸管理	・衛生管理点検表による毎日のチェック・月の腸内細菌検査は全て行い、事故、保菌者なし。 ・調乳担当者に関しても上記通り(乳児保育、調理、看護担当全員が細菌検査実施)調乳担当者用衛生管理点検表実施。 ・食材の保管に配慮すると同時に、常に品質を確認し、業者との連携を密にして運営。事故なし。 ・大田区による食材の放射能検査。すべて基準値を下回り問題なしとの結果受領。 ・保健所による立入検査でも特段の指摘事項なし。

カ 安全管理

交通安全教育	日常の園外活動時に各年齢に合わせた内容で教育を行った。
非常災害時の避難訓練	4/25(火)・5/23(地・津)・6/19(地)・7/3(火)・8/1(火・地)・9/2(地)・10/16(火)・11/18(火)・12/2(火)・1/16(地)・2/13(地・津)・3/6(地)
引き渡し訓練の実施	9/2実施
その他災害訓練	消防立ち会い訓練(7/11)・Web情報伝達訓練12/2・不審者訓練12/18

キ 事故による通院・救急搬送

発生日時	年齢	状況	診断
4/5 17:10	2歳男児	室内遊び中、他児に後ろから抱きつかれて転倒	左額部打撲(せき山王クリニック)
5/1 9:10	0歳男児	ベッドに降ろそうとしたときに急に動いてベッド柵にぶつける	左側頭部打撲(大森牧田クリニック)
5/16 17:10	0歳女児	室内でつかまり立ちをしようとして手が滑り、扉に頭をぶつける	前頭部打撲(せき山王クリニック)
6/10 10:50	1歳男児	テラスの扉に指を挟む	右小指挫創(寺嶋クリニック)
6/12 10:00	0歳女児	室内を歩行中、バランスを崩して肋木にぶつかる	額部打撲(大森牧田クリニック)
7/8 10:00	1歳男児	滑り台から降りたところのマットで足を滑らせ、肋木にぶつかる	額部打撲(大森牧田クリニック)
7/8 17:25	1歳男児	マットに足を入れて上下させていてバランスを崩し後ろに転倒	後頭部打撲(せき山王クリニック)
9/12 11:00	4歳女児	跳び箱を跳ぶときに指を開ききらずに不自然な形で手をつく	左手示指捻挫(寺嶋クリニック)
10/15 10:10	3歳女児	滑り台で後から来た他児に尻を噛まれる	左臀部咬傷(山王皮膚科クリニック)
10/28 18:10	0歳男児	立ち上がろうとしてバランスを崩し、側頭部をテーブル側面にぶつける	左側頭部打撲(大森牧田クリニック)
10/31 12:40	3歳女児	他児と共に勢いよく座ろうとして舌を噛む	舌部裂創(ウチダ歯科クリニック)
11/8 10:40	5歳女児	後ろから抱きついた他児の指が目に入る	右結膜下出血、びまん性表層角膜炎(大森眼科)
11/11 10:20	0歳男児	シャボン玉を追いかけて他児と接触して転倒	前額部擦過傷(山王皮膚科クリニック)
11/28 16:15	2歳男児	保育者の後ろからもたれかかり、支えきれず転倒	後頭部打撲(せき山王クリニック)
12/10 11:00	3歳女児	かくれんぼで木の陰に隠れようとして枝に接触	右側頭部擦過傷(山王皮膚科クリニック)
12/12 10:15	1歳男児	段差を走っていて転倒	頭部打撲(せき山王クリニック)
1/17 16:25	0歳男児	落とした玩具を拾おうとかがみ、机に頭をぶつける	頭部打撲(せき山王クリニック)
1/22 16:50	1歳女児	よろけた他児に足指を踏まれる	右第3指挫創(寺嶋クリニック)
2/19 15:40	2歳男児	玩具のカゴの縁に手をかけ、反動で持ち上がった反対側が顎にあたる	顎部擦過傷(山王皮膚科クリニック)
3/13 10:45	2歳男児	陸橋を走っていて止まろうとしてバランスを崩し転倒し、顎を打つ	顎部裂傷(大森牧田クリニック)(抜糸のため再診有り)
3/31 14:00	5歳男児	鬼ごっこをしていて振り返った拍子に看板に頬をぶつける	顔面打撲(大森牧田クリニック)

※受診は概ね初回、または様子確認・抜糸等のための再診にて終了。

※アレルギー発症・誤食・誤飲、その他救急搬送なし

ク 食育計画とその実践

年	目標
0 歳 児	【健】食べ物に興味を持ち、好き嫌いなく、しっかり噛んで完食できるようになる。 【人】安定した人間関係の中、楽しく食事ができる。 【命】お腹が空き、進んでミルクや離乳食を喜んで摂る。 【文】食事の前後には挨拶があるということを知る。 【料】いろいろな食べ物を見る、触る、噛んで味わうなどの経験を通して自分で進んで食べようとする。
1 歳 児	【健】好き嫌いせずに何でも食べ、自ら意欲的に食事ができる。 【人】様々な人と楽しく食事ができる。 【文】挨拶や手洗いなどを進んで行い、食事の準備中や食後など、静かに待てるようになる。 【命】調理の工程を見ることで、食材に興味をもつ。 【料】旬の野菜や魚などの美味しさを知る。
2 歳 児	【健】自分が苦手なものも進んで食べ、自分の体や健康に興味をもてるようになる。 【人】保育者を仲立ちとして友だちと共に食事を進め、一緒に食べる楽しさを味わう。 【文】食生活に必要な基本的な習慣や態度に関心を持つ。 【命】挨拶や手洗いなどを進んで行い、作ってくれた人への感謝の気持ちをもつ。 【料】バランスよく食べる大切さを知る。
3 歳 児	【健】多くの種類の食べ物や料理を味わう。 【人】自分で食事ができること、身近な人と一緒に食べる楽しさを味わう。 【文】食事を楽しみながら、マナーを身につける。 【命】栽培、飼育、食事などを通して、身近な存在に親しみをもち全ての命を大切にすることを養う。 【料】身近な食材を使って、調理を楽しむ。
4 歳 児	【健】自分の体に必要な食品の種類や働きを知る。 【人】様々な人との食事や対話を通して、愛情や信頼感を持つ。 【文】行事に関心を持って関わり、食材に親しみを持つ。 【命】野菜の栽培を通し、生育の様子を知る。 【料】食材に触れたり、調理することで関心を持つ。
5 歳 児	【健】健康や安全など、食生活に必要な基本的な習慣や態度を身につける。 【人】食事を通じて、感謝の気持ちを育む。 【文】季節の料理や郷土料理を味わい、郷土への関心を持つ。 【命】身近な自然に関わり、世話をしたりする中で、料理との関係を考え、食材に対する感覚を豊かにする。 【料】食事にふさわしい場を考え、ゆとりある落ち着いた食事をする。
ア レ ル ギ ー 対 応	●個々のアレルギーの状況を指示書・検査結果表をもとに把握し、それに応じた代替食を提供する。 ●家庭と連携をし、徐々に食べられる食品があれば、家庭での状況に準じて無理なく普通食へ移行できるよう援助していく。 ●アレルギーの有無に関わらず、家庭で初めて口にする食材のときは、1品ずつ様子をよく見て進めるよう声掛けをしていく。また、離乳食の進み具合に合わせ、アレルギーチェックを行ってもらう。

※食育活動の制限を全面的に解除し、昨年度整理した課題解決案に沿って現在の園児の経験に応じた内容になるよう計画を調整して実施。各年齢の子どもたちの発達の様子を把握し、今後に向けての新たな提案の実現に向けて次年度計画を調整。

(2) 職員の処遇
ア 職員構成

常用職員						有期雇用職員	
職種	人数	職種	人数	職種	人数	職種	人数
園長	1	看護師	1	事務・用務	1	保育士	10
主任	1	栄養士	1			保育補助	2
保育士	10	調理員	3			嘱託医	2

職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
園長		ひまわり		栄養士		感染症対策	
主任		(短)		調理員			
副主任		(短)				嘱託医	
ふたば わかば (短)		フリー				嘱託歯科医	
				フリー 短時間 保育士		体育講師	
		(固定時間)				英語講師	
						体育・英語の講師は直接雇用ではなく会社との契約による派遣	
つばみ たんぽぽ		看護師		(固)は、固定時間勤務の週5日1日6時間以上勤務の保育士、(短)は週30時間未満の短時間保育士			
		事務・用務					

2024年度新規採用・異動・勤務変更職員						2024年度退職・異動・契約形態変更					
採用日	職名	氏名	採用日	職名	氏名	退職日	職名・変更	氏名	退職日	職名・変更	氏名
2024. 4. 1	保育士		2024. 4. 1	保育士(北嶺より)		2024. 7. 20	保育士		2025. 3. 20	保育補助	
2025. 2. 5	(短)保育士					2024. 10. 20	(固)保育士		2025. 3. 31	(短)保育士	
(固)は、固定時間勤務の週5日1日6時間以上勤務の保育士、(短)は週30時間未満の短時間保育士											

イ 健康管理

項目	対象・概要	回数
職員健康診断	35歳未満の常勤職員全員	各人年1回、前回健診から1年以内に全員実施。結果を受けての専門医への再診等、看護師から助言を行った。(希望者は隔年ごとの乳がん/子宮頸がん検診を法人負担で受診)。
生活習慣病健診	35歳以上の常勤職員全員	
腸内細菌検査	保育士・看護師・調理員全員	月1回
ストレスチェックテスト	全職員	年1回

ウ 職員会議・MT

会議名	実施回数
法人経営会議	4/3. 5/9. 6/5. 7/3. 8/7. 9/4. 10/2. 11/6. 12/4. 1/8. 2/5. 3/5
職員会議	4/27. 5/25. 6/29. 7/27. 8/24. 9/28. 10/26. 11/30. 12/21. 1/18. 2/2. 3/1. 3/22
リーダー会	4/6. 5/10. 6/6. 7/4. 8/8. 9/5. 10/11. 11/7. 12/5. 1/9. 2/6. 3/6. 3/27
ロングミーティング	4/18. 5/16. 6/20. 7/18. 8/22. 9/19. 10/17. 11/14. 12/18. 1/16. 2/13. 3/19
クラスミーティング	原則として毎週金曜までに1回
リスクマネジメント委員会	原則としロングMTの前日に行い、MTの議題として共有できるよう設定(月1回)
給食会議	原則として職員会時(月1回)
法人内交流	年齢別で年3回、園長・事務・看護師は月1回、調理は隔月でMTを実施し、情報交換と交流を図った。

エ 研修記録

【個別研修】付表の通り。個人別の詳細な計画を立てて研修を進めた。

【全体研修】

※前年度に引き続き、法人内全園での学び合いの機会を多く設定した(法人報告参照)

- ・年間研修：園内研修テーマとして「情報発信力を高める」を設定し、発信の目的の明確化、内容の精査、写真の活用、等の外部への発信だけではなく、職員相互の発信についても向上を図った。
- ・遊具製作：クラス・担当単位とし、作成時の配慮と実際に遊ばせてみての評価・反省についても検証する形を継続。
- ・リトミック研修：前年度に引き続き、各園交代で指導を担当して学習会を年間計画に基づいて実施。
- ・勤務研修：新規入職者を対象とし、「社会人として」知っておくべき事などの説明を行い、職務意識の向上に努めた(法人本部主催)。

【OJT】

- ・OJT、週・月単位の計画に基づく指導。
指導職 MT での情報共有を実施。また、週案・月案の点検時に、計画実施の状況、変更の理由等をチェックし、問題があれば MT ノートにて指導。
- ・クラス巡回時の指導：クラスを巡回し、よりよい方法の提案、指導を行い、改善が見られない、または全体に関わる内容であれば全体会で周知・徹底を行う。

オ 職員処遇

1 福利厚生

- ・福祉医療機構退職共済制度・東京都社会福祉協議会従事者共済会・大田区勤労者共済
職員医療保険：常勤職員は全て加入対象とし、加入時には内容の周知を行った。
- ・園内職員共済会（よつば会）：例年通り自主的な運営を行い、親睦に寄与した。
- ・自転車保険加入補助

2 業務目標、業績評価システム

- ・例年通り勤勉手当支給前、次年度職級確定等の折には必ず評価との関連、評価の基準について明確な説明を行った。

3 永年勤続表彰 ・2024年度は該当者なし

4 育児休業後の復帰についての特例と、各種法改正及び職員の要望への対応

- ・育児休業終了後、短期間のうちに再度産育休を取得する場合の特例を定め、復帰せずに再度休暇取得ができるよう配慮した。
- ・育児休業、介護休業の法改正を受けての規則改定、職員からの問題提起を受けての制度の細則確認等、公平な規則運用を明示することを心がけた。

5. 有休取得・時間外勤務

2024 年度有給休暇取得日数平均

年間 11.8 日(夏休・特別休暇を除く常用職員取得平均値)

2024 年度時間外勤務時数

年間 16.6 時間(管理職を除く常用職員の平均値)

2. 施設管理

(1) 事務関係

ア 会計事務・管理事務

イ 児童処遇事務

(保育、給食、健康管理)

ウ 備え付け帳票類責任・担当者→右表に従い管理・運営。特に園児に関する情報共有と個人情報保護の関連については職員全員に意識づけを図った。

→以上の分担により効率的に業務を行い、互いに連絡を密にして円滑な園運営を行い、利用者からの外部への苦情申出なく年度を終了。

会計責任者	園長	管理責任者	園長
出納責任者	事務	防火管理者	副主任

児童処遇責任者	主任	衛生推進者	看護師
食品衛生責任者	栄養士		

(2) 設備関係

ア 固定遊具の点検→非該当。園庭砂場は業者(カワイ薬業)による消毒を行った(年 2 回)。

イ その他設備・備品→月 1 回の安全点検をはじめとして、日常的に点検、確認を行った。

ウ 衛生管理→空気清浄機(隔月フィルター交換)・布団乾燥(冬期以外月 1 回)・グリストラップ清掃(年 4 回)、害虫駆除消毒(年 6 回)、園庭の蚊の発生抑制(夏季 6 回)等、衛生管理を定期的に業者に依頼して行い、感染症の大規模な蔓延事例はなかった。

(3) 備品関係

ア 備品・保育用品・給食用品・固定資産等購入記録

→下表の通り。計画通り経年劣化による買換を進めたが、年々劣化速度が速まり、対応に追われている。リースへの切替や、行政からの補助金を活用して効率的な買換を検討。

品名	数量	支払日	総価格*	用途	品名	数量	支払日	総価格	用途
会計ソフト更新	1式	リース	1,760,000	5年リース	エレベーターロープ交換	2台	2/13	692,000	経年劣化による交換・買換
木製柵(エレベータ前)	1式	3/26	290,040	安全対策強化	全館エアコンオーバーホール	1式	10/13	572,000	
第三者評価受審	1式	2/15	583,000		2階保育室床張り替え	1式	5/13	825,000	共同募金配分金事業
年度末清掃	1式	2/13	328,130		ポータブル充電電池	1式	1/20	560,000	東京都補助事業

(4) 災害対策

ア 避難訓練

月1回(1(1)カの通り)

イ 防災設備の点検委託

右表の通り

※経年劣化による補修の必要の指摘数点あり、速やかに対処した

ウ 非常食糧の備蓄(全児童数+全職員数)×3食×(3)日分

点検箇所	実施日
消防設備等点検	7/4. 1/30
防火対象物検査	7/25
防火設備定期点検	1/30
建築設備定期検査	7/24
特殊建築物定期調査	非該当年
学校110番設置・点検	4/18. 7/19. 10/21. 1/24
空調設備点検	5/18・11/16
エレベーター・ダムウェーダー点検	月1回定期点検(法定点検:2/19)

3. 地域社会との連携(目標と実践総括)

- ① 4にあるような子育て支援事業を実施して地域の福祉に貢献し、また日常の中でも連携を深めるよう職員全員が心がける。(前年度からの継続)
→ほとんどがコロナ前の状態に戻らず、次年度も状況の急激な改善は望めないなので、区の方針を見ながら柔軟に対応する。
- ② 地域行事にも積極的に参加するよう心がける。→全て再開なし。
- ③ 継続して参加している地域行事以外に、地域との連携を広げる方法を職員全体で検討する。
→全て再開なし
- ④ 隣接する JR の関連会社・違法駐輪監視員との交流を図る。→行事の再開はなく、関わりも薄れているので、別の交流方法を検討する。

子育て支援事業実績	名称	実績	評価・反省
	緊急一時保育	1人	年度と中退園児が再入園を希望していたが間に合わず、一時保育利用までの期間に対応
	体験保育	10人	事前に園の感染症対策に関して理解と協力を求め、了承された上での受け入れを行った。
	出産前の体験	11人	
	小中高生の育児体験受入	6回	中学校のキャリア教育、大田社協主催のボランティアなど、受け入れ時の感染症対策の徹底や責任の所在が明確な団体からの受け入れに限って行った。
	育児相談	0回	
	出前保育	4回	対象を山王児童館のみにして、職員が余裕を失わず取り組めるよう計画し、多くの参加者があった
	世代間交流	1回	4.5歳児祖父母のみを対象とし、飲食を伴わない形で実施。
	退所児童との交流・子育て支援講座等		
	子育て支援講座に関しては、募集したが希望者がなかったので、今後の開催形態や募集について再度検討する。退所児童との交流は引き続き制限。		
	保育拠点活動支援	2人受入	実習中に1日は出前保育の準備や、支援講座の手伝いなど、地域活動の学習をする機会を設けた。

付：2024 年度外部研修参加記録

氏名	講座名	主催	開催日	講座名	主催	開催日
園長	全国安全週間説明会	(一社) 大田労働基準協会	6月7日	メンタルヘルスと感情コントロール	島田福祉会	9月7日
	法人合同研修 (触れることの楽しさ～触覚入門)	島田福祉会	6月29日	化学物質製造取扱事業所でのリスクアセスメント担当者養成研修	(一社) 大田労働基準協会	12月11日
	社会福祉法人指導連絡会	大田区福祉管理課	8月7日	「昨今、強化されている労働行政の施策の特徴と対応ポイント」	(一社) 大田労働基準協会	2月6日
	知らなきやトラブる労働関係法	(一社) 大田労働基準協会	8月22日			
主任	幼稚園教諭・保育園保育士合同研修会「インクルーシブな保育に向かうために」	大田区幼児教育センター	5月15日	令和6年度認可保育所講習会	東京都福祉局	9/4～
	法人内リトミック学習会	島田福祉会	5月18日	メンタルヘルスと感情コントロール	島田福祉会	9月7日
	集団指導講習会 (認可保育所)	保育サービス課	6月3日	大田区キャリアアップ研修 (乳児保育)	大田区	10月25日
	法人合同研修 (触れることの楽しさ～触覚入門)	島田福祉会	6月29日	こどもと自然をつなぐ観察&遊び 冬編	芸術と遊び創造協会	フリー
	人事管理研修	福祉人材センター	7月11日～	「食物アレルギーによる事故を防ぐために保育施設の管理者が行うこと～保育所における食物アレルギー・アナフィラキシー対応～」	(公財) 東京都保健福祉財団	11月8日
	重大事故防止と安全管理のポイント/保育園での事故を防ぐための取り組み	保育ブラザ	7月11日	第1回保育事業者セミナー「保育者の精神的ケアの充実のために」	福祉人材センター	11/22～12/13
	子どもの命と安全を守る保育/職員集団と園運営	保育ブラザ	8月22日	法人内分科会 (2歳児) (アドバイザー)	島田福祉会	11月30日
	法人内リトミック学習会 (主催)	島田福祉会	8月31日	信頼関係を深め、やる気を促す育成面談	東京都保育人材/保育所支援センター	1/16～3/6
	令和6年度社会福祉事業従事者人権研修 I	東京都福祉局	9月4日			
副主任	法人内リトミック学習会	島田福祉会	6月15日	令和6年度社会福祉事業従事者人権研修 I	東京都福祉局	9月11日
	法人合同研修 (触れることの楽しさ～触覚入門)	島田福祉会	6月29日	大森西保育園公開保育	保育サービス課	11月21日
	業務継続計画の作成研修	東京都福祉施設会	8月2日	法人内分科会 (1歳児) (アドバイザー)	島田福祉会	11月30日
	上級救命再講習	東京防災救急協会	8月3日	法人内リトミック学習会	島田福祉会	12月14日
	法人内リトミック学習会 (主催)	島田福祉会	8月31日	法人内リトミック学習会 (主催)	島田福祉会	2月15日
	メンタルヘルスと感情コントロール	島田福祉会	9月7日			
保育士	法人内リトミック学習会	島田福祉会	6月15日	上級救命再講習	東京防災救急協会	8月3日
	法人合同研修 (触れることの楽しさ～触覚入門)	島田福祉会	6月29日	法人内分科会 (1歳児)	島田福祉会	11月30日
	1歳児の発達と保育	保育ブラザ	7月2日	法人内リトミック学習会	島田福祉会	1月25日
	幼稚園教諭・保育園保育士合同研修会「絵本を通じた子どもの育ちと学び」	大田区幼児教育センター	7月9日	法人内リトミック学習会 (主催)	島田福祉会	2月15日
保育士	幼児期運動指導リーダー保育者養成研修 (中級編)	大田区幼児教育センター	5/8・6/19	丁寧に関わり続ける保育	子どもの文化学校	7/25・11/14
	保育の基本と大切にしたい視点	保育ブラザ	6月5日	上級救命再講習	東京防災救急協会	8月3日
	法人内リトミック学習会	島田福祉会	6月15日	感染症予防講演会	大田区保健所	11月26日
	法人合同研修 (触れることの楽しさ～触覚入門)	島田福祉会	6月29日	法人内分科会 (0歳児)	島田福祉会	11月30日
	法人内リトミック学習会 (主催)	島田福祉会	8月31日	法人内リトミック学習会	島田福祉会	1月25日
	よりよい保育のためのおとな同士の関係づくり	保育ブラザ	11月12日	法人内リトミック学習会 (主催)	島田福祉会	2月15日
保育士	法人内リトミック学習会	島田福祉会	5月18日	メンタルヘルスと感情コントロール	島田福祉会	9月7日
	幼児期運動指導リーダー保育者養成研修 (初級編)	大田区幼児教育センター	5/22・6/26	愛育セミナー2、よくかかる病気と予防接種	母子愛育会	10/15～
	生きる力を培う0.1. 2歳の遊び	子どもの文化学校	6月28日	保育実践力強化研修「事例で学ぶ保護者対応」	保育サービス課	11月18日
	幼児期の言葉の発達の基礎知識と関わり方	新医協	6月29日	大森西保育園公開保育	保育サービス課	11月19日
	1歳児の発達と保育	保育ブラザ	7月9日	法人内分科会 (1歳児)	島田福祉会	11月30日
	法人内リトミック学習会 (主催)	島田福祉会	8月31日	キャリアアップ研修 (保健衛生・安全対策)	(公財) 社会教育協会	2/13～2/14
保育士	島田福祉会職員勤務研修	島田福祉会	4月6日	法人内リトミック学習会	島田福祉会	11月16日
	ゼロ歳児の発達と保育	保育ブラザ	6月24日	法人内分科会 (0歳児)	島田福祉会	11月30日
	法人合同研修 (触れることの楽しさ～触覚入門)	島田福祉会	6月29日	子ども発達支援講演会1「発達障害の基礎知識と対応について」	わかばの家	1月22日
	上級救命講習	東京防災救急協会	7月13日	ぜん息・食物アレルギー緊急時対応研修「アナフィラキシーの基礎知識と緊急時対応の実際」	(公財) 東京都保健福祉財団	1月31日
	法人内リトミック学習会	島田福祉会	7月20日	法人内リトミック学習会 (主催)	島田福祉会	2月15日
	幼稚園教諭・保育園保育士合同研修会「主体的に学ぶ子ども」	大田区幼児教育センター	9月18日	キャリアアップ研修 (保健衛生・安全対策)	(公財) 社会教育協会	2/18～2/19
保育士	2歳児の発達と保育	保育ブラザ	6月21日	保育実践力強化研修「潤滑なチームワーク」	保育サービス課	10月23日
	法人合同研修 (触れることの楽しさ～触覚入門)	島田福祉会	6月29日	大田区キャリアアップ研修 (障がい児保育)	大田区	11月19日
	法人内リトミック学習会 (主催)	島田福祉会	7月29日	法人内分科会 (3歳児)	島田福祉会	11月30日
	小児神経科医師巡回相談研修 (第4回)「発達障害」～その特性に対する理解と配慮	保育サービス課	7月10日	法人内リトミック学習会	島田福祉会	12月14日
	法人内リトミック学習会 (主催)	島田福祉会	8月31日	リーダーシップ研修 (第2回)	東京都保育人材/保育所支援センター	1/29・1/30
	2歳児クラスの保育教室 (全10回)	子どもの文化学校	5/14～12/3	法人内リトミック学習会	島田福祉会	7月20日

氏名	講座名	主催	開催日	講座名	主催	開催日
保育士	小児神経科医師巡回相談研修(第2回) 「発達障害」～その特性に対する理解と配慮	保育サービス課	5月8日	保育実践力強化研修「潤滑なチームワーク」	保育サービス課	10月9日
	3歳児の発達と保育	保育ブラザ	6月7日	法人内リトミック学習会	島田福祉会	11月16日
	幼稚園教諭・保育園保育士合同研修会「心を育てる保育環境」	大田区幼児教育センター	6月12日	法人内分科会(2歳児)	島田福祉会	11月30日
	法人合同研修(触れることの楽しさ～触覚入門)	島田福祉会	6月29日	子ども発達支援講演会2「発達が気になる子のサポート入門」	わかばの家	2月17日
	上級救命講習	東京防災救急協会	7月13日	スタートカリキュラム研修会	大田区幼児教育センター	3月26日
保育士	小児神経科医師巡回相談研修(第1回) 「発達障害」～その特性に対する理解と配慮	保育サービス課	4月10日	0JT・仕事の教え方研修	福祉人材センター	8月19日・20日
	5歳児の発達と保育	保育ブラザ	6月20日	令和6年度アブローチカリキュラム研修会	大田区幼児教育センター	8月28日
	4歳児の発達と保育	保育ブラザ	6月28日	大田区キャリアアップ研修(幼児教育)	大田区	11月8日
	法人合同研修(触れることの楽しさ～触覚入門)	島田福祉会	6月29日	法人内分科会(5歳児)	島田福祉会	11月30日
	法人内リトミック学習会	島田福祉会	7月20日	法人内リトミック学習会	島田福祉会	12月14日
	保幼小連携合同研修会	大田区幼児教育センター	8月1日	リーダーシップ研修(第2回)	東京都保育人材/保育所支援センター	1/22・1/23
	保育実践力強化研修「業務効率化のテクニック」	保育サービス課	8月22日	法人内リトミック学習会(主催)	島田福祉会	2月15日
保育士	身体感覚から考える気になる子どもの理解と保育	芸術と遊び創造協会	フリー	障害のある子に対するバランス運動の基礎知識	田口教育研究所	10月20日
	法人内リトミック学習会	島田福祉会	6月15日	発達障害と愛着障害の基礎的理解	田口教育研究所	10月27日
	法人合同研修(触れることの楽しさ～触覚入門)	島田福祉会	6月29日	愛着(アタッチメント)と言葉の力	日本保育園保健協議会	11月15日
	愛着形成と愛着の問題の現れ方、特徴	田口教育研究所	6月29日～	エリアネットワーク研修会「発達障害がある子どもの行動面の課題に対するポジティブ行動支援の方法」	大田区教育委員会	11月26日
	愛着障害と発達障害の関係	田口教育研究所	7月20日～	法人内分科会(2歳児)	島田福祉会	11月30日
	法人内リトミック学習会(主催)	島田福祉会	8月31日	上級救命講習(再講習)	東京防災救急協会	2月14日
	愛着障害への支援と実際とコツ	田口教育研究所	8月31日			
保育士	島田福祉会職員勤務研修	島田福祉会	4月6日	幼稚園教諭・保育園保育士合同研修会「みんなで楽しむつながりあそび・うた」	大田区幼児教育センター	11月13日
	排尿の仕組みとトイレトレーニング	新医協	6月6日	保育実践力強化研修「事例で学ぶ保護者対応」	保育サービス課	11月18日
	法人合同研修(触れることの楽しさ～触覚入門)	島田福祉会	6月29日	法人内リトミック学習会	島田福祉会	11月16日
	保幼小連携運動遊び指導者研修会	大田区幼児教育センター	8月27日	法人内分科会(1歳児)	島田福祉会	11月30日
	メンタルヘルスと感情コントロール	島田福祉会	9月7日	法人内リトミック学習会(主催)	島田福祉会	2月15日
看護師	保育園・幼稚園看護師のための医療リスク管理	エムハンク	5月24日	法人内分科会(看護)	島田福祉会	11月30日
	地域母子保健研修会I「乳幼児保健・育児支援」	恩師財団母子愛育会	6/5～6/6	子どものアレルギーに関する相談実務研修1、2	(公財)東京都保健福祉財団	1/6～2/28
	法人合同研修(触れることの楽しさ～触覚入門)	島田福祉会	6月29日	乳幼児のワクチンの注意点	日本保育園保健協議会	1月11日
	メンタルヘルスと感情コントロール	島田福祉会	9月7日			
栄養士	法人合同研修(触れることの楽しさ～触覚入門)	島田福祉会	6月29日	法人内分科会(調理)	島田福祉会	11月30日
	特定給食施設講習会「若いうちからの生活習慣病予防」	大田区保健所	10月31日	リーダーシップ研修(第3回)	東京都保育人材/保育所支援センター	2/18・2/19
調理員	給食連絡会	大田区私立保育園連合会	5月17日	法人内分科会(調理)	島田福祉会	11月30日
調理員	特定給食施設講習会「栄養報告」	大田区保健所	5月17日	法人内分科会(調理)	島田福祉会	11月30日
	法人合同研修(触れることの楽しさ～触覚入門)	島田福祉会	6月29日	特定給食施設講習会「日本人の食事摂取基準」	大田区保健所	12月10日
	調理講習会	保育サービス課	8月24日	愛育セミナー③、離乳食と食物アレルギーの理解	母子愛育会	1/27～2/28
調理員	島田福祉会職員勤務研修	島田福祉会	4月6日	法人内分科会(調理)	島田福祉会	11月30日
	法人合同研修(触れることの楽しさ～触覚入門)	島田福祉会	6月29日	特定給食施設事例報告会	東京都保健医療局	2/21～3/7
	令和6年度衛生講習会	保育サービス課	8月23日			